

いたわり

2008年10月号 No.93

くすりのキュート(株)健康新聞

第21回 「間違いだらけの食事常識」

〈日時〉10月16日(木)午後2~3時
 〈場所〉くすりのキュート玉名店 2階 健康教室

第35回 くすりのキュート植木店 健康茶話会

〈日時〉10月27日(月)午後1時30分~2時30分
 〈場所〉くすりのキュート植木店 店内

第5回 「緑の輝きバスツアー」 ← 毎回大好評です!

〈日時〉11月11日(火)午前10時~午後3時半
 クロラ工場見学 → 自然食バイキング「ティア」

緑の輝きバスツアー

第5回マザーの会



9月16日 第4回のバスツアーを行いました。写真はちよび、ゆかり工業のたけ工場が「GMP」の認定を受けた工場だと説明されている所です。「GMP」とは他機関から抜きうちで調査が入り、衛生管理や品質管理などの高い基準をクリアした工場だけに与えられるそうです。その品質管理と重金属、細菌、異物などの混入がないかの安全性試験は徹底されており、参加者全員が「安心、安心」と連呼していました。2万坪の工場内で、研究開発、培養加工を各専門家が携わる「世界唯一貫生産」は、本当に安心の証です!

貸久先生の「癒しのオラ」、満開の「マザーの会」が9月2日に開きました。「お母さん偉大な教育者」と貸久先生は語られます。これらにならぶと子供は「何ともしません」。自分たちが早くか「危い」か「手を出してしまいか」が、その時に「ちよび」で「お母さん」を助ける為に「喜んで何ともしやうぞ」と思ふようになり、それが「お母さん」の為に役立つ仕事としよう、と心に描いて成長していくのだそうです。4000人以上の赤ちゃんを育てた「お母さん」の代表のような貸久先生のお話に参加された方々は「お疲れ帰りは皆笑顔で帰られました」。

次回 11月11日(火)です

次回 12月5日(金)です

食の安全

中国ゴキブリ事件も解決しないのに、今度は「汚染米」や有害物質メラミンの混入など「何を信じればいいのか」「何を食ったらいいのか」わからないくらい不安だらけの状況です。自給率の低い日本は外国からの輸入がなくては食っていけない現状があります。自給率39%と発表されていますが実はなんと1%とも言われているのです! 畑を耕す耕運機も魚を捕りにくく漁船も石油の輸入がストップした津がません。日本で作った野菜でも種や肥料が輸入物だらけで完全国産とは言えません。大豆は96%がアメリカからの輸入です。赤道上を船で輸送されてくる為、虫がワヤヤと船中24時間も農薬をかける収穫後にかかる農薬には規制がないのです。では、外国からの輸入食品だけが問題なのかと言うとそうではありません!

汚染米使用の卵焼き
 学校給食 9万食に
 千葉と長野

九州山口 694施設提供
 メラミン疑感菓子
 病院 防ぎようがない

汚染米 390業者に
 食への不安拡大
 「外国産買いたくない」

「キレイの為に数種類」「安心の為に数種類」「便利の為に数種類」
 「日持たがすまはるに味が濃くはるに数種類」

コンビニ弁当
 合計150種類の添加物

キャバディ有名な群馬県のキャバディに対する農薬使用回数は
 おい! 26回

コシヒカリ有名な新潟県魚沼地域の米への農薬使用回数は
 なんと 20回

農薬の使用回数は2.3回。多くても10回くらいかと思っていたので、こんなに多いのかと驚愕しました。知らず知らず体に入ります。食品添加物の量は一年で「ペット一杯」とも言われています。これは外国産の食品におとら「国産」の食品も安全とは言えません! しかし全く安全な食品だけで毎日食事をする事は現代においてはかなり困難な事です。そこでやはり「筑後産クロラバイオリンクCK-5」です。

バイオリンクの緑の成分「葉緑素」や「食物せんい」が農薬や添加物を腸から吸収する前に便にからめて排出を促進します。また、源液の成分(BCEx)が肝臓に強く働きすぎに蓄積された農薬や添加物の「解毒」をします。またバイオリンクは種株から筑後工場まで培養し無農薬、有機栽培で育て、収穫して無添加で錠剤に固めています。そして出来たバイオリンクをおくお店に直送しています。無農薬、有機栽培、無添加。そして旬の最も安全、安心な食品がバイオリンクCK-5なのです!!!

